

15日 木曜

出エジプト



5:1 その後、モーセとアロンはパロのところにいき、そして言った。「イスラエルの神、主がこう仰せられます。『わたしの民を行かせ、荒野でわたしのために祭りをさせよ。』」

5:2 パロは答えた。「主とはいったい何者か。私がその声を聞いてイスラエルを行かせなければならないというのは。私は主を知らない。イスラエルを行かせはしない。」

5:3 すると彼らは言った。「ヘブル人の神が私たちにお会いくださったのです。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください。でないと、主は疫病か剣で、私たちを打たれるからです。」

5:4 エジプトの王は彼らに言った。「モーセとアロン。おまえたちは、なぜ民に仕事をやめさせようとするのか。おまえたちの苦役に戻れ。」

5:5 パロはまた言った。「見よ。今や彼らはこの地の人々よりも多くなっている。そしておまえたちは彼らの苦役を休ませようとしているのだ。」

5:6 その日、パロはこの民を使う監督と人夫がしらに命じて言った。

5:7 「おまえたちはれんがを作るわらを、これまでのようにこの民に与えてはならない。自分でわらを集めに行かせよ。」

5:8 そしてこれまで作っていた量のれんがを作らせるのだ。それを減らしてはならない。彼らはなまけ者だ。だから、『私たちの神に、いけにえをささげに行かせてください。』と言って叫んでいるのだ。

5:9 あの者たちの労役を重くし、その仕事をさせなければならない。偽りのことばにかわりを持たせてはいけない。」

5:10 そこで、この民を使う監督と人夫がしらたちは出て行って、民に告げて言った。

「パロはこう言われる。『私はおまえたちにわらを与えない。』」

5:11 おまえたちは自分でどこへでも行ってわらを見つけて、取って来い。おまえたちの労役は少しも減らさないから。』」

5:12 そこで、民はエジプト全土に散って、わらの代わりに刈り株を集めた。

5:13 監督たちは彼らをせきたてて言った。

「わらがあったときと同じように、おまえたちの仕事、おまえたちのその日その日の仕事を仕上げよ。」

5:14 パロの監督たちがこの民の上に立てたイスラエル人の人夫がしらたちは、打ちたたかれ、「なぜおまえたちは定められたれんがの分を、きのうもきょうも、これまでのように仕上げないのか。」と言われた。

モーセが言ったからといって、パロ王は従いませんでした。この世の権力はさらに強大になりたいと、その欲望はとどまるどころを知りません。モーセには何の武力も財力もないので、この世の権力にとっては従うようなものではないのです。私たちも同じような体験をするでしょう。そのときこそ、信仰が表れます。

パロはさらに「労苦を重く」しました。モーセの行動は、イスラエルにとって裏目に出してしまったのです。そのようなことはよくあるので、私たちは主に従っているのなら、ひるむことはありません。モーセのように、主の力で冷静に大きな目で見て立ち向かいましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

